

# 2年ぶりの県外視察は青森県で実施 原子燃料サイクル施設と青森の文化に触れる！

川崎地域連合は6月21日(金)、22日(土)青森県において県外視察を実施しました。役員21名が参加しました。

21日(金)は原子燃料サイクル施設などを運営する日本原燃株式会社などを視察しました。



六ヶ所原燃PRセンターサイト内で概要説明を聞いた後、いくつかの施設内に入り説明を受けました。ここは、従業員が約3100人、その他協力会社1200社、約8000人が働いています。地元採用を拡大し、地場産業の振興に貢献しています。



PRセンターで説明を聞く参加者たち

仕事の内容としては、原子燃料サイクル施設の設計・建設・運転・保守管理などで、

原子力発電所で使用される燃料集合体を加工する工程を担当します。使用済燃料の再処理により、エネルギーの長期的な安定確保を目指しています。大きく5つの事業から成り立っており、ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、再処理工場、MOX燃料工場がそれぞれの役割を果たし、原子力発電を支えています。



22日(土)は青森県内の観光名所をめぐりました。奥入瀬溪流、十和田湖、田んぼアート、津軽藩ねぶた村、弘前城など青森を代表する自然や文化に触れることができ、充実した2日間の視察を終えました。



奥入瀬溪流



田植えをしたばかりの  
田んぼアート



十和田湖



ねぶた村